

生徒の感想から

☆自分だけががんばっているって勘違いしてた
周りの支えがあって生きているんだ

ぼくはこれからどう生きていくか考えたい

☆「中学時代の体験が今の自分につながっている」と聞いて
大変な体験もちゃんと生きて行くんだなあ、と学んだ

自分も地元に戻って、なんとかうまくやっていきたい

☆お話を聞いてたくさんの勇気と安心、「病気に負けないぞ」という
気持ちをもらった。この会は気持ちを整理させる機会となりました。

1 自立活動の取り組み

生徒の感想から

「**自分も変われる**」

「**勇気をもらった**」

「**夢に向かってがんばる**」

中学生段階で

病気をもち子どもたちの

自己概念形成に有効

1 自立活動の取り組み

先輩の話から学んだこと

- 病気を理解し、向き合って生きていく
- 自己管理しながら病気と付き合っていく
- 病気によって、できないことは伝える
- 不安やストレスはある・・・でも対処する
- 周りの人と支え合って生きていく
- 自分が、どんなことなら役立つのか考える



児童期・青年期前期に病気をもつ子どもたちの自己概念形成に有用

○同世代モデルの先行体験を疑似体験することで、自己理解を深め

自己形成していく上で影響をもたらす

○病気の種類を越えて、体験・生き方への共感を生み

次への動機づけとなる

1 自立活動の取り組み

自立活動A 年間28時間実施

1 健康学習

睡眠・排泄・食事・感染予防に関する一般的な基礎知識

2 ストレスマネジメント学習

3 自己肯定していくことの大切さ～エンカウンター

4 先輩の話を聞く会

自分の病気に向き合い、将来のことを考える

5 転出後の生活を考える

6 いのちの学習

1 自立活動の取り組み

転出後の生活を考える〔復学支援〕

- ① 「復学」をテーマにした**授業**
 - ・誰でも不安を抱える。その不安を言語化しよう
 - ・様々なケース(不安の内容、対応策)を提示
 - ・取り組み(復学支援会議、準備登校、学校コンサルテーション)
 - ・サポート体制(誰に相談するか、公的支援、福祉)
- ② **自分手帳**を使って今までの振り返り、今後のことを考える
- ③ **復学支援チェックシート**を使った個別面談
 - ・生徒と保護者の不安や要望を把握
 - ・前籍校に依頼、改善点を協議

項目	状況	対応
不安を抱えている		
不安の内容		
対応策		
取り組み		
サポート体制		
前籍校との連携		
その他		



合理的配慮を基に **児童生徒、保護者、前籍校**の三者にとって
安心・安全な復学を目指して

転出前の作文(中3女子)

- 告知を受けたときの驚き・悲しみ
- ゆっくりとやってきた衝撃
- 治療の苦しみ
- 病気を受け入れられない日々
- さまざまな病気の友達と退院へ向けての同じ目的
- 自分だけの世界から広がり始めた世界
- 入院前の自分の生き方を振り返る
- たくさんのサポーター・・・頼ることも大事
- 苦痛な体験を退院後(その後)の力に
- 回復と新しいステージへの意欲

1 自立活動の取り組み

自立活動の学習のまとめとして生徒に伝えていること

中学生は 自分のことを 自分で考えて
前に進んでいく時期

自立の一步を踏み出すとき

- 病気を理解し、向き合って生きていくこと
- 自己管理しながら病気とつき合っていくこと
- 病気によって、できないことは伝えること
- 不安やストレスはある・・・でも対処すること
- 周りの人と支え合って生きていくこと
- 自分が、どんなことなら役立つのか考えること

病気について「言いたくない、知られたくない」と言う人もいます。
心の動きは自由です。

自分でよく考えて、みんなと相談して決めていきましょう。

ゆっくりでいいんだよ……。

1 自立活動の取り組み

自立活動での注意点と対応策

生徒達が困難さを抱えている



形骸化の恐れ

自立活動の取り組みで心理的安定、意欲の向上、心身の健康保持

事例研究で心身両面の問題に対処する
‘個を見る力をつける’

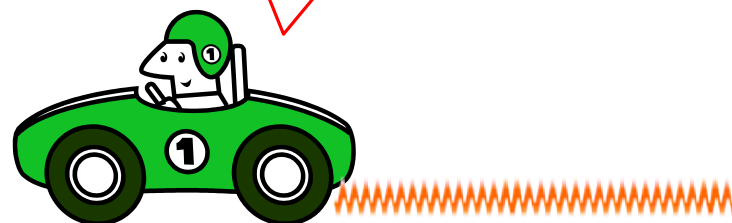
キャリア教育の取り組み

総合的な学習の時間

キャリア教育

キャリア CAREER

語源
〔 車の通る道 〕
CAR と同語源



- ① 経歴 (その人が、どういう学校を出て
どのような仕事をしてきたか)
- ② 生涯
- ③ 職業

私のキャリア

経歴

- 〇〇〇保育園
- ⇒ 東京都▽▽区立△△小学校
- ⇒ 川口市立□□中学校
- ⇒ ◇◇◇高等学校
- ⇒ ○○○予備校
- ⇒ ☆☆大学**学部★★学科

職歴

- 越谷東高等学校〔10年間〕
- ⇒ 大宮ろう学園〔11年間〕
- ⇒ 岩槻特別支援学校〔6年目〕

先生方に聞いてみよう

**1 中学生の頃
就きたかった職業**

2 先生になった理由は

キャリア教育とは・・・

将来 **社会人** として

仕事人 として

自立 するために学ぶこと

生活 や **仕事** において

自分らしく生きることを目指して

なにが必要なの…

人間関係をつくる

情報を上手につかう

自分で考える
決める

計画をたて
準備して実行する

力をつける！

なにをするの・・・

- ・経験する
- ・感じる
- ・知る
- ・考える



自立を目指して

自分らしく生きるために

**岩特のキャリア教育では
どんな取り組みがあるのか？**

1学期

職業講話

先輩の話を聞く会(自立)

2学期

職業講話

先輩の話を聞く会(自立)

文化祭

3学期

職業講話

弁論大会「青年の主張」

職業講話のねらい

働く人の様々な思いや考えを知り

働くことの意味を考え

自分との関わりについて知り

自分の将来設計に役立てる



看護師さんの職業講話

生い立ち **なぜ看護師になったのか**

看護師になるために**必要なこと**

一日の流れ **大切にしていること**

仕事をしていて**嬉しいこと、たいへんなこと**

夢や希望 **中学生に伝えたいこと**

ちょっとプライベートなこと

講話を聞いた生徒の感想

想像をはるかに超えた厳しい現場だと思った。
そんな中、話を聞いてくれたり、勉強を教えて
くれて、看護師さんのありがたみが増した。

‘生きる’の反対側に‘死’があるけど、
医療現場ではそれが一番近くにある。
そんな中で働いている看護師さんは
すごいと思うと同時に、今、生かされて
いる自分は恵まれていると思った。



「医学が進んでいても、全部の命が助かる
ということではない」という体験を思い出した。
だから、自分が生きているのは奇跡だと思う。

一生懸命仕事をしているので、
息抜きも大切だと思いました。
私も社会人になったら、コツコツ貯めて
買い物で気分転換したいです。
そのために今は勉強したいと思います。

新聞記者さんの職業講話



- ①中学生のころ ②就職までのみちのり
- ③新聞記者について
 - ・新聞記者になった理由 ・新聞をつくるやりがい
 - ・新聞記者の仕事 ・一番心に残っていること
 - ・教育現場を特集して感じていること
 - ・情報化社会に対して思うこと ・これからやってみたいこと
- ④ストレス解消法、自己管理
- ⑤インタビュー・新聞づくりについて
 - ・インタビューするときのコツ ・メモの取り方
 - ・タイトル・記事の書き方 ・伝えるために大事なこと

職業インタビュー

- ・職業講話で学んだことを実践する
- ・身近な職業人と自分との関わりを知る
- ・インタビューを通して自身の職業観を育む
- ・インタビューの成果を文化祭舞台発表につなげる

キャリア教育 生徒へのガイダンス



病院長



副島 賢和 先生



院内セブンイレブン店長



小説家 市川 拓司さん

理学療法士

夢ひろば新聞 2015年10月24日

「継続は力なり」

夢道どおり
キャリアリポート
中1 巖竹遼太

校長先生の夢
○福島の中学校で教員
○福島の小学校で教員
○埼玉県の大学で教員
○日本の看護専門学校
○埼玉大学の教員
○看護専門学校
○福祉専門学校
○教育委員会
○自治体福祉課長

校長先生の仕事

校長先生の仕事は、本校の教育活動の中心として、生徒の学習指導や生活指導、教職員の指導、学校行事の企画・実施、地域との連携など、多岐にわたります。また、生徒の進路指導や、保護者への説明会など、様々な役割を担っています。

一生懸命な先生

先生は、生徒一人ひとりの成長を大切に、日々努力を怠りません。また、教職員の間でも、互いに支え合い、学校を良くするために頑張っています。

1-4病棟の食堂にて

先生が笑顔を出して下さると、生徒も笑顔になります。先生は、生徒の笑顔を見るのが、何よりも嬉しいそうです。

こう見えて、アウトドア派だよね。ドライブ、散歩が好きです。

佐々木さんからの中学生へのメッセージ
貴校は素晴らしい。だから、今はやりたいことをやったり、遊ぶのが良いと思う。心を広く持つこと、素晴らしいと思う。でも、そんな貴校を卒業して、現場へ出たら、大変なことになる。辛いことです。辛いことです。

記者の感想

校長先生

夢ひろば新聞 2015年10月24日

子どもたちが元気に戻るため

夢道どおり
キャリアリポート
中3 石井大輔

佐々木先生をインタビューしました。
<先生の略歴>

神奈川県藤原市立
高校 卒業
和歌山県立 医科大学 卒業
埼玉 県立 岩槻小児医療センター 勤務

先生の一日

- 8時起床
- 7時病院着
- まず患者さんの検査
- 画像との診断計画の話し合い
- 病室診察
- 朝食(食べられないこともある)
- 午後は次の日の診断計画
- 帰宅は8時過ぎ(目を覚ますこともある)
- (当直は月2、3回)

先生が笑顔を出して下さると、生徒も笑顔になります。先生は、生徒の笑顔を見るのが、何よりも嬉しいそうです。

こう見えて、アウトドア派だよね。ドライブ、散歩が好きです。

佐々木さんからの中学生へのメッセージ
貴校は素晴らしい。だから、今はやりたいことをやったり、遊ぶのが良いと思う。心を広く持つこと、素晴らしいと思う。でも、そんな貴校を卒業して、現場へ出たら、大変なことになる。辛いことです。辛いことです。

記者の感想

担当の医師

夢ひろば新聞 2015年10月24日

「継続は力なり」

夢道どおり
キャリアリポート
中1 大淵 聖生

～花町さん的一日～

10月24日 10月25日 10月26日 10月27日 10月28日 10月29日 10月30日 10月31日

10月24日
10月25日
10月26日
10月27日
10月28日
10月29日
10月30日
10月31日

先生の仕事

先生は、生徒一人ひとりの成長を大切に、日々努力を怠りません。また、教職員の間でも、互いに支え合い、学校を良くするために頑張っています。

一生懸命な先生

先生は、生徒一人ひとりの成長を大切に、日々努力を怠りません。また、教職員の間でも、互いに支え合い、学校を良くするために頑張っています。

1-4病棟の食堂にて

先生が笑顔を出して下さると、生徒も笑顔になります。先生は、生徒の笑顔を見るのが、何よりも嬉しいそうです。

こう見えて、アウトドア派だよね。ドライブ、散歩が好きです。

佐々木さんからの中学生へのメッセージ
貴校は素晴らしい。だから、今はやりたいことをやったり、遊ぶのが良いと思う。心を広く持つこと、素晴らしいと思う。でも、そんな貴校を卒業して、現場へ出たら、大変なことになる。辛いことです。辛いことです。

記者の感想

キャリア教育 生徒へのガイダンス

夢ひろば新聞 2015年10月24日

有言実行 私達の未来を守る

夢道どおり
キャリアレポート
田邊麗子

ざんのアロフェール
院→神戸市東灘区
第二中学校→松山北中学校→岡山県立
→早稲田大学→花田病院看護専門学校
院→3名、お名前を

看護師の一日

5:40 起床 井出の 朝ごはん シヤ
6:40 家 出勤
8:00 病院 看護 看護の管理・調剤
看護の管理
看護のバイタル管理

看護師の心

夢

夢があるなら それに向かって いっしょにチャレンジ!

養護教諭

夢ひろば新聞 2015年10月24日

一人一人の患者さんのため

夢道どおり
キャリアレポート
中上 幸 看護

前住さんのあゆみ
□高校卒業
□東京農業大学
農学部
栄養学科卒業
□製薬会社(製薬) 4年
□定時制短大
(栄養士) 8年
□小児医療
センター 7年
□精神医療
センター 5年
□小児医療
センター 4年経

料理を作るのも得意

栄養士への心

栄養士さんのお仕事

人生の先輩になる

担当の看護師

夢ひろば新聞 2015年10月24日

寄り添う心を大切に!

夢道どおり
キャリアレポート
中2 福岡 志月

田邊先生のあゆみ

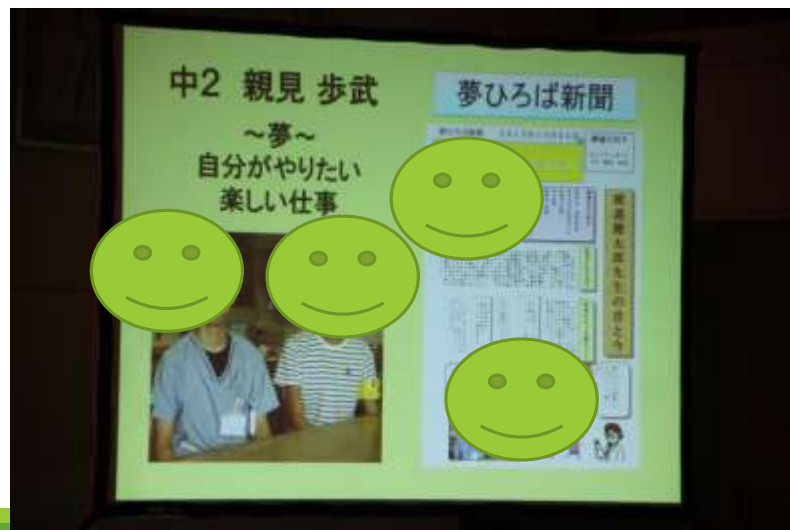
セルフエステティシム

なるには?

ひとこと：田邊先生が勉強のことをとても大切に思っていて、私たちが色々な人々に支えられているということがよくわかりました。自分の病状としっかり向き合って元気に勉強できるようにしたいです。

管理栄養士

文化祭 『こちら夢広場新聞社』



Sくんの作文から

僕は、春まで部活動や学校行事など充実した学校生活を送っていました。自分が病気になるとは全く考えたこともなかった僕は、足を手術しなくてはいけない現実を受け止めるのは簡単なことではありませんでした。

僕は、出来なくなってしまったことを悲観し、絶望感にさいなまれました。しかし、出来なくなったことではなく、できることを探してみると、たくさんあることに気づきました。出来ることを考えると、「家に帰ったら何をしようか、退院したら何をしようか、高校にいったら何をしようか」夢はどんどんふくらんでいきました。夢が見つかり、今、自分が何をすべきかが、必然的に見えてきました。僕は、この取り組みで得たこの気持ちを忘れずにいたいと思います。

何もかも当たり前前はことは、ひとつもありません。「ありがとう」という感謝の気持ちを持って、これからの生活を送っていきたいと思います。

3学期の職業講話

米菓製造会社工場長

① 生い立ち

② 職業キャリア

③ 取得資格

④ 仕事について

- ・ 一日の流れ
- ・ やりがい、喜び
- ・ 大切にしていること
- ・ 商品開発
- ・ 企業が求める人材
- ・ 企業が社会に果たす役割
- ・ お菓子がもたらしてくれること



「人生において大切なことは
倒れないことではなく、起き上がること」

「失敗しても、そこから学び、次に活かす」

「工場をつくることは、人を育てること。」

「モノ言わぬモノに、モノを言わせるモノづくり」

米菓製造工場長さんの職業講話



弁論大会「青年の主張」

伝えたいことを文章にして
聞いている人が
分かりやすい工夫をして
発表しよう



テーマは
最近、考えたこと
感じること
変だなあと思うこと
やりたいこと
皆に知って欲しいこと!
何でもOK



自分の職業適性を調べてみよう

以下のサイトを使って
自分の性格や適している職業を調べよう

進研ゼミ 職業適性検査

13歳のハローワーク 思い出から見るタイプ診断

アクセス進学ラボ 適職

あくまでも参考

2 キャリア教育の取り組み

26年度	職業体験	職業講話
1学期	病院内セブンイレブン	病院管理栄養士
2学期	薬剤部 検査技術部	
3学期	煎餅手焼き体験	米菓製造業工場長 オリンピックメダリスト

27年度	職業体験	職業講話
1学期		看護師
2学期		新聞記者
3学期	煎餅手焼き体験	米菓製造業工場長

28年度	職業体験	職業講話
1学期		病棟保育士
2学期	薬剤部 検査技術部	元プロサッカー選手
3学期		米菓製造業工場長 または 童話・絵本編集者

2 キャリア教育の取り組み

院内セブンイレブンでの職場体験



接客では大きな声ではっきりと、
お客さんの目を見て言わないといけない。
挨拶の重要さがわかりました。

レジではお客さんの年齢を入れている。
商品管理や仕入れの大切なデータとなると知った。

品物を補充するときはお客さんの
じゃまにならないようにとか、見やす
いように並べかえたりと、お客さんの
ことを大切にしていると思った。

相手のことを考えて行動する店員さん
のたいへんさがわかった。
これからコンビニで買い物するときは
店員さんの気持ちを思い出したい。



2 キャリア教育の取り組み

薬剤部 検査技術部での職業体験



飲む、塗る、点滴などの薬は3回のチェックをしてから届けられる。それを14人のスタッフでやっていると聞きびっくりしました。



子どもが飲みやすい薬を考えてくれているおかげで自分の飲んでいる薬が飲みやすいのだとわかりました。



心電図や脳波の検査では不安で動いてしまう子どもを寝かせて検査することを知りました。



赤血球の映像や色々な機械、採血のことを教えてもらい勉強になった。



これからは、検査結果や薬が来るのが遅いと文句をいうのは止めようと思います。

2 キャリア教育の取り組み

作家 市川拓司さんとの交流



東京都出身

会社勤務の後、2002年小説家デビュー

2003年 奥様との馴れ初めを基に書いた
『いま、会いにゆきます』を発売

映画化、テレビドラマ化され、文庫も合わせ
140万部の大ベストセラーとなる

「恋愛小説の旗手」として支持される

アスペルガー症候群であることを公表

「小説には私の幼い頃からの体験が反映されています。
自分が弱者なので、弱い立場で書きたいのです。」

「いのちの本質に触れるようなものを書きたい」

本校のキャリア教育の見直しは
市川さんとの出会いから
始まった

2 キャリア教育の取り組み



『ぼくの手はきみのために』 『ねえ、委員長』
『ぼくらは夜にしか会わなかった』
『こんなにも優しい、世界の終わりかた』 など

2 キャリア教育の取り組み

これまで・・・

平成26年、本校 A教諭(市川氏の恩師)が市川さんと再会
本校について話し、協力を要請 ⇒ 快諾いただく

この話を聞いた文化祭担当教諭が
「<今の自分を見つめ、将来を考える>をテーマにした
文化祭の取り組みに関わっていただきたい」

9月 総合学習で<市川さんを囲む会>開催
テーマ:いのちの贈り物
事前に『いま、会い』映画鑑賞



市川さんとお話しを通して
生徒が将来を思い描き、今後について具体的に考える機会とした

朝日中学生ウィークリー(現、朝日中高生新聞)が
病気と向き合う子供たちを通して 病弱教育の理解を広める取り組みを
していたため取材を受ける

2 キャリア教育の取り組み

市川さんの作品に触れる機会を提供

各自が、病気の自分を主人公にした

ショートストーリーを書き、**冊子**にする

それらをベースに

文化祭中学部舞台発表の**シナリオ**作成

市川さんに観てもらい絶賛していただく

当時の最新刊『壊れた自転車でぼくはゆく』を
生徒全員に署名とメッセージを添えて寄贈していただく

2 キャリア教育の取り組み

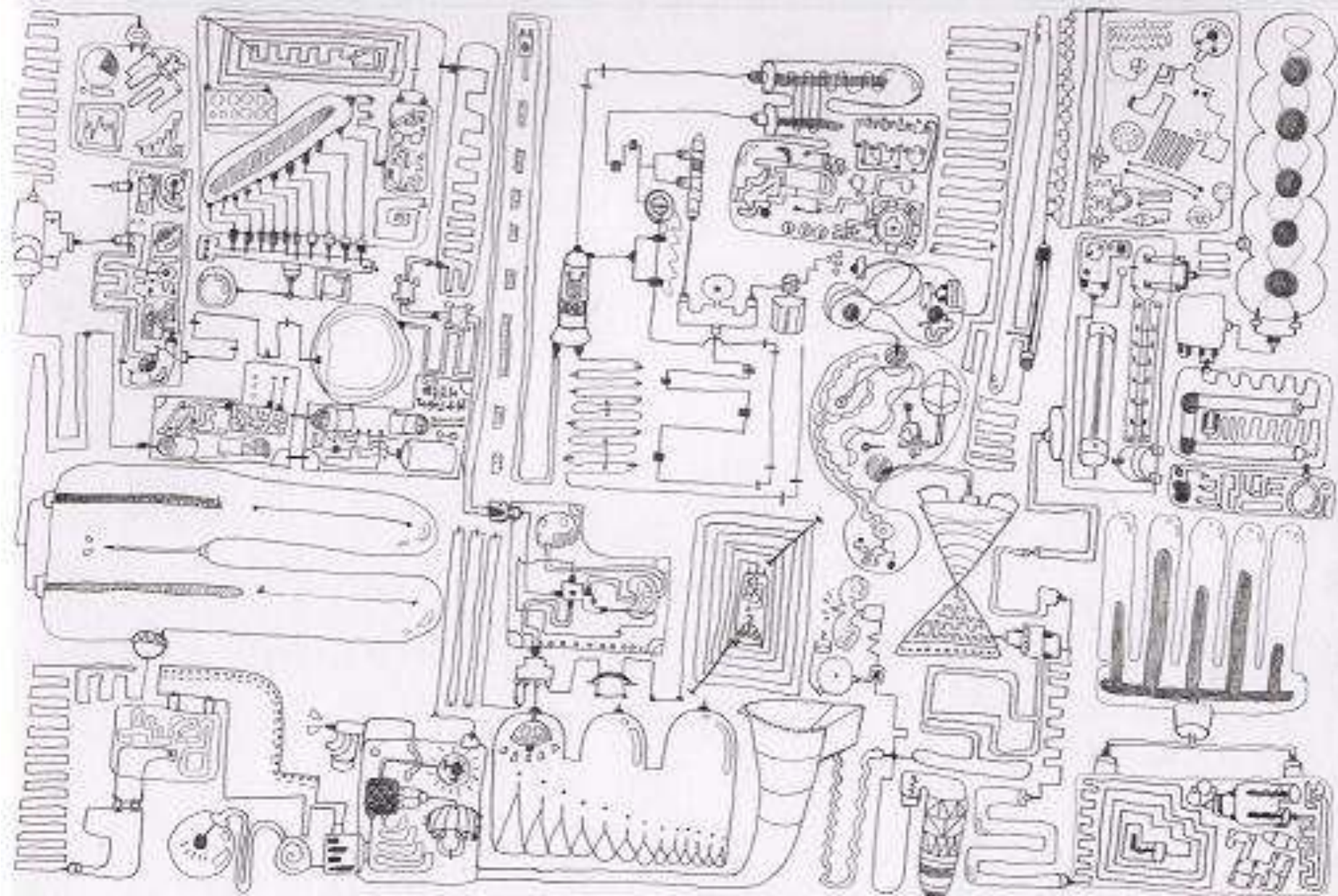
Mさんとのつながり

＜市川さんを囲む会＞には参加できず中継を見る
囲む会終了後、市川さんのイメージで**絵を描く**
キーワードは＜**優しさ**＞

「Mさんの想いを市川さんに受け止めてもらい、励みにしたい。
絵を活かせないか。どんな形でもいいので公にできないか。」と
A教諭から市川さんに依頼

市川さん、「文章を付けましょう」と了承
文化祭の発表と絵がマッチしてアイデアが生まれる
「文章が溢れ出て、手が追いつかなかった」

市川さんのブログに**Mさんの絵**と共に『**優しさの回路**』発表



Mさんの優しさの回路

「優しさの回路」謝辞

イラストを寄せて下さったMさん、どうもありがとうございました。
あのイラストを見て、すぐに「これは優しさの回路だ！」という思いが湧き起こり
この小説が生まれました。

どんどんアイデアが浮かんで、なんだか大きな物語になっていきそうな
気がします。
いつかは、「子供たちの優しい心が世界を救う」というこの小説を
もう一度長編で書いてみたいな、とも思っています。

また、様々なインスピレーションを与えて下さった
「地球帰還少年少女隊」のみなさんどうもありがとう。

あなたたちの舞台を観てとても勇気づけられました。
あのとき流した涙は、ほんとに熱かった。自分でもびっくりするほどです。
逆境に負けず、勇気を持って前向きに生きる姿は神々しいほどでした。

また特別支援学校の先生方、この度はどうもありがとうございました。
このような素晴らしい感動に立ち会える機会を与えて下さったことに感謝します。
みなさんの快復と健やかな日々を心より祈ってます。

3 まとめ

自立活動・キャリア教育 → 文化祭舞台発表へ

- 26年度
- 市川さん、A教諭、文化祭担当教諭、学部主事でねらい、進め方を数回協議
 - 映画『いま、会いにゆきます』を生徒、教職員で鑑賞
 - 「いのちの贈り物」をテーマに市川さんを囲む会実施
 - 自身を主人公にしたショートストーリーを創作 冊子にまとめる
 - 作品を基に舞台発表のシナリオ作成 演題『いのちの贈り物』
 - 文化祭にて舞台発表 市川さんにも観ていただく
 - 市川さんから、舞台の感想と各自にメッセージを添えた最新刊を寄贈していただく

- 27年度
- 朝日中高生新聞者記者さんに職業講話を依頼 了承をいただく
 - 職業講話を聞く
 - 生徒が新聞記者となって身近な職業人に取材する
 - 各自、取材をもとに記事(A4、1枚)を作成
 - 新聞社を舞台にした舞台発表シナリオ作成 演題『こちら夢ひろば新聞社』
 - 新聞記者さんに舞台発表までの取り組みと舞台を取材してもらう

両年度とも取材を受け、朝日中高生新聞に掲載された

3 まとめ

文化祭舞台発表のねらい

- ① 社会で活躍する職業人の話を聞き、未知の体験や知識に興味を持ち、仲間と協力し合って、新しいことに挑戦する勇気と価値を体得する
- ② 病気を含めて今の自分を見つめ、自己理解を深め、夢や希望を持ってこれからの生き方を考える
- ③ 「自分の世界」を文化的に表現し、仲間と共感し合うことを通じて、自身を持ち、自己肯定感を高める
- ④ 社会への関心を高め、社会との関係を学び、社会人としての基盤をつくる機会とする。
- ⑤ 仲間と舞台を創り上げることを通して、他者理解を深め、他者の存在意義を認識し、協力し合う喜びを知る。
- ⑥ 楽しく、無理なくやり遂げ、評価を受けることで、個々に合った達成感を味わう。

病弱教育の自立活動とキャリア教育のねらいは共通する点がある

3 まとめ

本校 自立活動のねらい

- ①健康状態の維持・改善に必要な生活様式的确立
- ②心理的安定や病気を克服する意欲の向上
- ③自尊感情、自己効力感を育む
- ④転出後の環境に適応する力をつける

本校 キャリア教育のねらい

病気を含めた自己理解と将来への希望を持つ
との共通点

- ①自己理解
- ②達成感、充実感を味わう
- ③将来に目を向ける 夢 希望
- ③社会との関わりを知る 自身の役割を知る
- ④伝える力を付ける

3 まとめ

中学生段階のキャリア発達を支援する観点

能力領域	具体的な能力・態度
人間関係形成	<ul style="list-style-type: none">・自分の良さがわかり、他者の良さや感情も理解し、尊重する。・他者に配慮しながら、積極的に関係を築こうとする。・コミュニケーションスキルの基礎を習得する。
情報活用	<ul style="list-style-type: none">・体験等を通して、勤労の意義や働く人の様々な思いがわかる。・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアをして活用する。・将来の職業との関連の中で、今の学習の大切さを理解する。
将来設計	<ul style="list-style-type: none">・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立てて、達成に向けて努力する。・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の行き方を考える。・将来の夢や職業を思い描き、自分に相応しい仕事への関心・意欲を高める。
意思決定	<ul style="list-style-type: none">・自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい選択をしようとする。・よりよい生活や学習、進路や生き方を目指して、自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。・課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。

(国立教育政策研究所「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」H14.11)

キーワード： 自己理解 他者理解 自分に相応しい 夢 課題に取り組む
コミュニケーション能力 情報収集
仕事への関心・意欲 勤労の意義 勤労者の思い 社会的役割

課題と対応

活動制限がある

← 創意工夫

機会が少ない

← つながり 協力

予定通りに進められない

← 記録に残す

大切なこと

生徒理解

本校だから 今だからできること

人 人脈 人材

ベースに学部内での情報共有 病棟との連携

3 まとめ

どんな道を刻んでいくのでしょうか・・・



ご静聴ありがとうございます